

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公表番号】特表 2003-520900 (P2003-520900A)
 【公表日】平成 15 年 7 月 8 日 (2003.7.8)
 【出願番号】特願 2001-554490 (P2001-554490)
 【国際特許分類第 7 版】

C 2 2 B 7/04

C 2 1 C 5/36

【F I】

C 2 2 B 7/04 Z A B A

C 2 1 C 5/36

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 27 日 (2004.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属浴、特に鉄浴上に液体スラグを装荷し、炭素または炭素含有材を供給してこのスラグを還元する際に、還元を 2 段階で行い、第 2 段階は第 1 段階より高い還元ポテンシャルで行い、液状のスラグまたはスラグ混合物を脱クロムおよび / または脱ニッケルする方法において、金属浴への炭素の供給をスラグのクロム酸化物および / またはニッケル酸化物の含有量が 0.8 質量% ~ 0.2 質量% に低下するまでに行い、スラグのクロム酸化物含有量が所定範囲に達した時点で、更に還元ポテンシャルの高い還元剤として Al、Ca、Si、Fe-Si または Ca-Si を添加することによりクロム酸化物および / またはニッケル酸化物の含有量を 0.15 質量% 以下にすることを特徴とする方法。

【請求項 2】

クロム酸化物および / またはニッケル酸化物の含有量を 0.08 質量% 以下にすることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

Fe-Si の添加量を 3 ~ 15 kg / トン - スラグとすることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

Fe-Si の添加量を 6 ~ 10 kg / トン - スラグとすることを特徴とする請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

上記更に還元ポテンシャルの高い還元剤の添加後に、浴を不活性ガスでフラッシングすることを特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

最初の炭素による還元を 15 ~ 30 分間行い、次の還元を 3 ~ 10 分間行なうことを特徴とする請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。